

令和7年度大学・高専機能強化支援事業
(支援2：高度情報専門人材の確保に向けた機能強化に係る支援)【高等専門学校】
事業概要

令和7年2月申請時点

1. 基本情報

高専名	弓削商船高等専門学校		
設置区分	国立	学校種	高等専門学校
都道府県	愛媛県	事業期間	令和7年度～令和16年度
申請区分	高等専門学校	改組内容	学科・コース等の設置・増員
事業計画名	弓削商船高等専門学校 離島工学に基づく高度情報専門人材育成コースの構築		

2. 事業概要

情報工学、機械工学の各分野の専門性と高度情報技術を身につけた人材を育成するため、令和8年度に**創造工学科（ものづくりコース）・情報工学科（知能情報コース、情報通信コース）**を開設予定である。既存の電子機械工学科（非情報系）40名、情報工学科（情報系）40名に代わり、創造工学科（ものづくりコース）・情報工学科（知能情報コース、情報通信コース）において、80名を配属予定であり、高度情報技術を身につけた卒業生を**倍増**する。

ものづくりコースは、IoTを活用したものづくりや機械制御に対応し、機械・製造分野でSociety5.0を創造するDX推進人材を輩出することを旨とする。各コースには、それぞれのカリキュラムを明確化した履修プログラムを設置し、他コースから自由に選択できるようにした。知能情報コースでは、高度な情報教育を実践しハードとソフトの両面で情報技術を牽引する情報エキスパート人材を育成する。情報通信コースでは、情報技術に加えネットワークインフラやサーバセキュリティに対応するネットワークエキスパート人材を育成する。

本学の掲げる**離島工学**に基づき特色のある地域課題の解決をベースにPBL教育を実施し、実践的技術者の育成を実現する。

3. 情報系組織

情報系組織の設置・増員計画（赤字は事業対象組織）

	組織名	入学定員		設置・増員等時期	設置等後の 主な学位分野
		事業開始時	事業終了時		
学科	創造工学科	0	40	改組による設置	工学関係
	情報工学科	40	40	改組による変更	工学関係
		0	0		
		0	0		
		0	0		
		0	0		
		0	0		
	計		40	80	増員数

高専全体の収容定員に占める情報系組織の収容定員の割合

	学科
増員前（R7.4.1時点）	33.3%
増員後	66.7%
増分	+33.4%

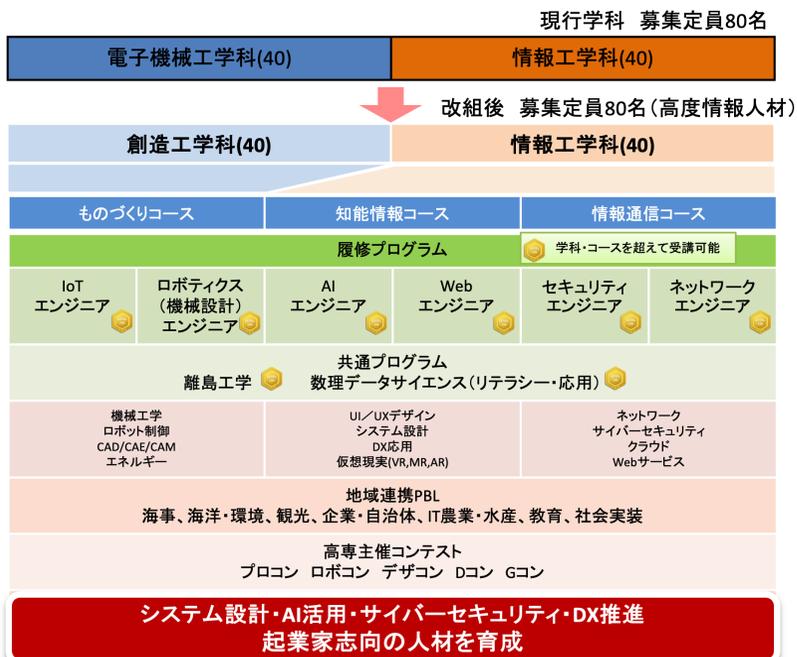


事業計画名 弓削商船高等専門学校 離島工学に基づく高度情報専門人材育成コースの構築

基本情報

改組内容	学科・コース等の設置
所在地	愛媛県越智郡上島町
増員する情報系組織名	創造工学科・情報工学科
入学定員増数及び増員時期	40名(令和8年度)

【学科改組の概要】



商船学科 弓削丸



【コンセプト・特徴】

1. 改組前の電子機械工学科(40名)及び情報工学科(40名)から、創造工学科及び情報工学の2学科3コース(80名)とし、高度情報専門人材の増員を行う。
2. 情報系カリキュラムの全要件を網羅し、情報技術を活用してものづくり産業に従事する人材を育成する創造工学科、AI、サイバーセキュリティなどより高度な情報処理技術者を育成する情報工学科を新設する。
3. ロボットやIoTによるシステム制御を担うものづくりコース、情報技術によって地域課題の課題解決からシステム設計までを担う知能情報コース、インターネットや社会システムに存在するセキュリティに対応する情報通信コースを設置する。
4. 全コースに離島工学・数理DS・IoT・セキュリティなどの履修プログラムを設置する。他コースの科目を相互に選択可能とする。

【特色】

地域課題に積極的に取り組むことにより、問題発見・解決能力を有し、起業家精神を持った意欲ある技術者を育成する。

- 地域課題の積極的活用
 - ・本学は離島にあり、産業の空洞化、少子高齢化など様々な課題に先進的に取り組んでいる。これらの取り組みは離島工学として教育カリキュラムに組み込まれている。
 - PBL中心の教育体系の強化
 - ・高専プロコン・デザコンなど課題解決型コンテストに早くから取り組み、多くの実績を収めている。

【ステークホルダーとの連携】

- 大学・高専間連携
 - ・4大学36高専と単位互換協定を締結し遠隔授業を実施
- 地元企業・自治体との連携
 - ・インターンシップ、共同研究
- 小中学校との連携
 - ・出前授業、しまなみプロコン、公開講座、体験イベント



【女子学生、社会人学生、留学生等の確保】

- ・情報工学科は約4割が女子学生であり、エンジニアを目指す女子からの人気は高く、学科改組によりさらなる増加が期待される。
- ・リスキング教育に対応するため、履修プログラムを整備する。
- ・海外研修プログラムを通して海外KOSENとの連携を推進する。



【ニーズ・課題】

現場がわからない、改善点に気づけない、新技術についていけない

DX技術を持った専門人材
問題発見・解決能力の優れた情報人材
高度情報処理の発展に合わせて成長できる人材

※離島工学

島で起こった問題を島の資源や人材を活用して、島の中で解決する技術
高専が核となったエコシステムの構築を目指す

